

# 避難行動要支援者名簿・被災者台帳のデータ標準化の概要

参考資料 4

(一財)全国地域情報化推進協会



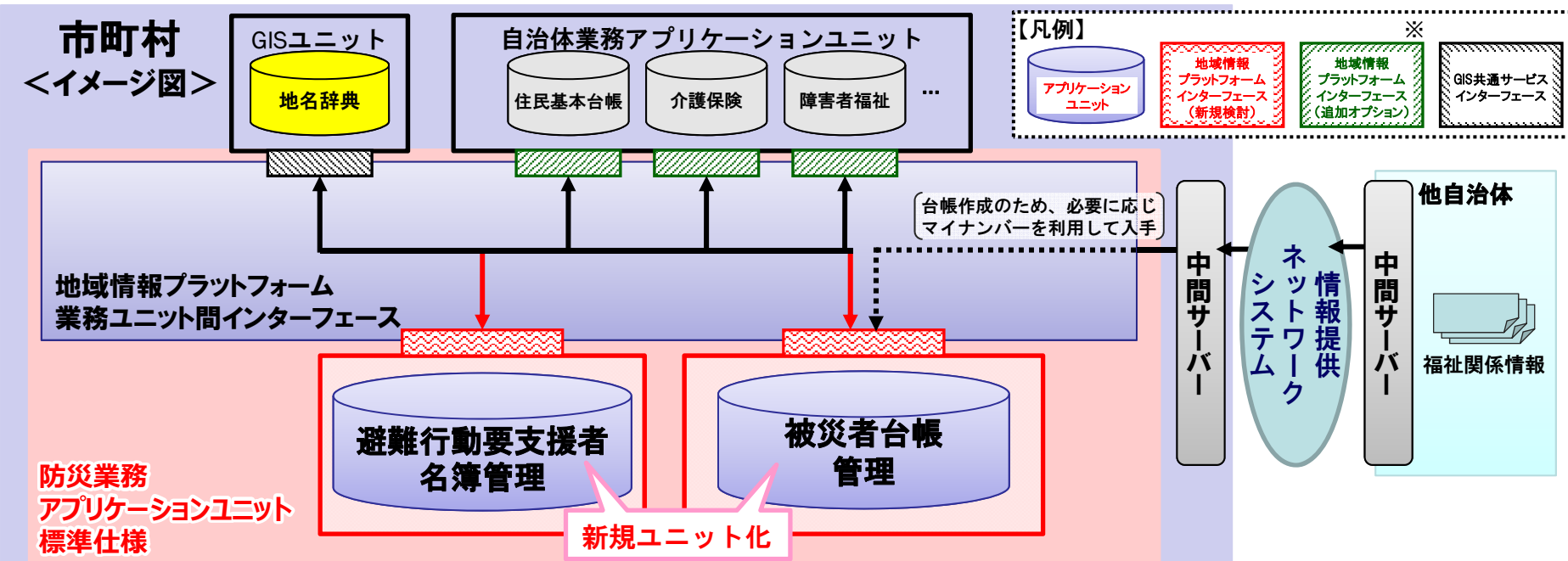
「GIS-防災・業務システム連携SWG」(メンバー:事業者、自治体等)を設置し、「避難行動要支援者名簿」及び「被災者台帳」の標準仕様化の検討を行い、標準仕様を作成。

## 【標準化検討の概要】

- (1)業務の分析と標準的な業務の範囲等の検討。業務ユニット単位の確定
- (2)地域情報プラットフォームによるデータ連携を考慮した、避難行動要支援者名簿、被災者台帳のデータ標準化
- (3)避難行動要支援者名簿の随時更新を考慮したインターフェースの標準化
- (4)被災者台帳の迅速な作成を考慮したインターフェースの標準化(団体間連携含む)

## 【避難行動要支援者名簿、被災者台帳の作成・更新における地域情報プラットフォーム活用のメリット】

各業務ユニットとのシームレスな情報連携により、避難行動要支援者名簿、被災者台帳を常に最新の状態に保つことが可能



※自治体業務アプリケーションユニットのインターフェース仕様は追加オプションとし、新規ユニットに情報提供できる製品として準拠登録することができる。

⇒ 検討を踏まえ、平成28年11月に標準仕様を公表予定